



アバン仙台 Jr. Youth News 第31回 2017年 4月号

2017年度シーズン開幕！～ MJ1部昇格を獲る～

もうすぐMJリーグ開幕！

選手の皆さん、そして保護者のみなさん、いよいよジュニアユースの宮城県リーグ1部昇格をかけた長い戦いが4月8日(土)に開幕します。

卒業生たちの悔しい思いを胸に、リーグ開幕までの期間にやれることをやりきりましょう。

また、MJリーグ期間中には、クラブユース選手権・宮城県大会も行われます。新シーズンの始まりとともに熱い戦いが続々と始まります！

ジュニアユースの取り組みを知り、ジュニアユースの応援をよろしくお願いします！



これまでのチームの取り組み

チームは、新3年生18名、新2年生13名、新1年生5名によるチーム構成になっています。監督として畠山が担当します。

新チームの目標は、『MJ1部昇格』です。その目標を達成するために、1月から報告メールやサッカーノートを活用し選手とコミュニケーションをとってきました。ですが、新チーム結成当初は、スタッフの我々だけが『MJ1部昇格』の目標に掻き立てられているのではないかと感じる場面がありました。目標を達成できるのは、プレーをする選手たちなのです。だからこそ、選手たちがどういう目標をもってこれからの1年間を取り組んでいくのか話し合いを行いました。結果、『MJ1部昇格』が明確に目標となったことで、ようやくコーチと選手たちが同じスタートラインに立つことができました。ここからは、良いスタートを切るための準備を徹底していくのみです。

準備の1つとして、「話す、聞く」ことです。

3か月間続けてみると、聞く姿勢だけでなく、質疑応答も自然と行われる雰囲気になってきました。相手を尊重しながら話を聞くという姿勢を大事にして、一人ひとりが話をしています。試合中でも同じことが求められると思います。自分の考えを伝える、相手の考えを聞き入れながら(理解しながら)プレーをする。これが、強い意志で繋がりリーグ戦を戦いぬいていく秘訣になるのです。

もう1つは、「走力」です。

宮城県リーグや他県のリーグには「走り」を主体としたサッカーで好成績をおさめるチームもあります。そのチームのほとんどは「最初から最後まで」走りきります。走れるチームは、モチベーションも高く選手同士で常に声を出し盛り立てています。「声」は疲労した中でも集中力やモチベーションを持続させる大きな力となります。

その中で、アバンが目標を成し遂げるためには、チームの大きな特徴である『技術力』を最大限発揮すること。そして、技術力に加えて「走力」も兼ね備えることです。アバンが考える「走力」とは、ただ単純に走りきる体力があれば良いわけではありません。その体力よりも走る「タイミング・スピード・場所」が重要となり、どう関わるのかを考えながら走ることが大切です。

この力を身につけることができれば、アバンの「技術力」を発揮しながらリーグ戦を戦いぬいていくことができます。

だからこそ、「練習」でも「試合」でも一人ひとりの「走ること」への意識を高く持ち取り組んでいきましょう。



助け合いながら勉強

全員にチャンスはある！

選手たちには、この言葉を伝えたことがあります。「目標が明確になれば、行動も変わる。行動が変われば、習慣が変わる。習慣が変われば、人格が変わる。人格が変われば運命が変わる」

この言葉とは裏腹に急に人は変わらないものです。ですが、今までと違う人のように取り組みが変わる人がいるのも事実です。

今やっていることは良くないと気づいてから、行動に変えるまでの時間は人それぞれ。

では、早い人との差はなにか。それは、「本気度」です。周りを気にして行動するのか、自分は何が何でも達成してやる！と取り組むかは、自分次第です。

現在、行動・プレーを変えていかななくてはと感じている選手が、少しずつ増えてきていますが、問題はここから。ぜひ、目標をもって取り組んでみよう！

宮城県リーグ2部 リーグ戦 日程

節	期 日	開始時間	試合会場	対戦カード
1	4月 8日 (土)	10:00	松島フットボールセンター①	VS YMCA
2	4月29日 (土)	10:00	県サッカー場 C	VS 田尻中
3	5月 3日 (水)	10:00	東北学院中学校グラウンド	VS 古川東中
4	5月 20日 (土)	10:00	十三塚公園グラウンド	VS 東北学院2nd
5	6月 3日 (土)	10:00	東北学院中学校グラウンド	VS 仙台FC 2nd

クラブユース選手権 宮城県大会 日程

節	期 日	開始時間	試合会場	対戦カード
1	4月30日 (日)	10:00	中田柳生河川敷グラウンド	VS 仙台中田
2	5月 7日 (日)	10:00	登米(人工芝)グラウンド	VS FCオークス

テクニカル部分への取り組み

いよいよリーグ戦が開幕しますね。リーグ戦では技術力を最大限に発揮した攻撃スタイルを貫いて戦っていきましょう。

そのためには、今回は「三角形」についてお話をします。

試合などのプレー中にパスをつなぐ上で、選手間でつくる三角形は大事にされています。これまで伝えてきた「角度」や「距離(幅)」という考え方も大切です。

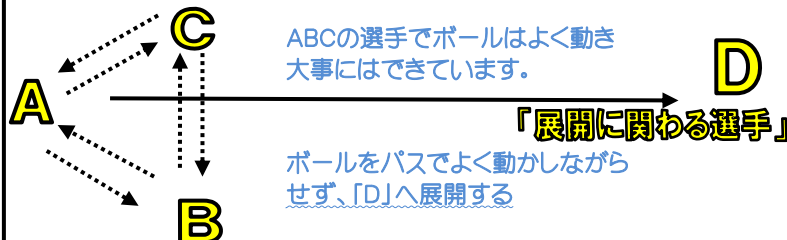
振り返ってみるとどうでしょうか。

コーチが、試合を見ているとボール周辺で3人が三角形を作り、短いパス交換はできています。この短い距離間はアバンの特徴でもあります。ですが、関わっているのがその3人だけなのです。この場面で大事なことは、相手との距離を取りつつ1人、2人と関わる選手が出てくることです。

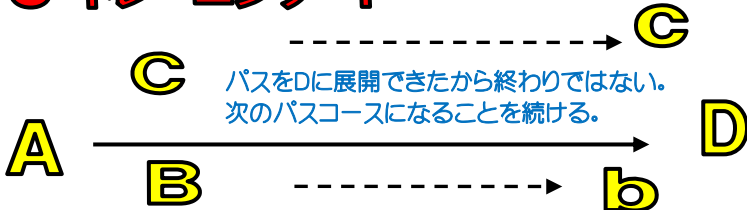
この関わりを増やせることで、選択肢を増やすことができ、ゴールへ運びやすくなるはずですよ。

下記の図のような三角形に関わる選手が出てくれば、いま以上に攻撃的なサッカーができます。練習から取り組んでみましょう。

「三角形でボールを動かしている状況」



● トレーニング 1



最近のトレーニングマッチや紅白戦の中でゴールに向かって人もボールもよく動き出しています。

リーグ戦に入ってもボールへの関わり・距離の質を落とさずに継続して1試合1試合が成長できる場として取り組んでいきましょう。

7期生壮行会 ~ 意志を継承 ~



ご卒業おめでとうございます

7期生の壮行会は見事な試合でした。特に7期生たちはアバンのジュニア選手時代に「ドリブル」と「走り」に取り組んだ世代です。果敢な選手が揃いました。たくさんの思い出があります。そして、コーチがジュニアからジュニアユースまで担当した初めての選手たちでした。コーチはこの卒業生たちの戦う姿を忘れず、記憶にも目にも焼きつけて後輩たちとMJ1部昇格を戦います。3年生のみなさん、お疲れ様でした。

HPは「アバンツァーレ」で検索できます！

「成長エピソード」

今回は、成長の見える2年生の鈴木愛斗君と、3年生の相澤一成君2名を紹介します。



鈴木愛斗くん
(すずき あいと)

アバンに入って生活面で成長できたのは、一人行動です。僕は家が遠いため交通機関を一人で利用することになること、深く寝入ってしまうこともあり、寝過ぎす不安もありました。そんな中コーチと話してスタートした一年でした。独自の行動が多く経験できたことでは注意深さと、「他人に確認」して乗るといった、自分になかった行動ができるようになりました。積極的さが成長したと思います。

僕の特徴は短い距離の一瞬にあります。スピードに自信があるのでトップスピードでどんな相手にもドリブルで負けないように頑張ります。リーグ戦では絶対に勝ちたいです。



相澤一成くん
(あいざわ いっせい)

僕の2年間の活動を振り返ってみて、試合や練習でも声を出すようになったことが一番変わったことだと思います。以前の僕は、自分のプレーばかり意識して周りを見ていなかったことが多かったです。

今ではコミュニケーションをとれるようになりました。声を出すといっても厳しく求めるだけでなく、励ます声かけをしていきたいです。

4月からリーグ戦がスタートします。声出したら、チームを盛り上げるようなプレーをしてチームに貢献していきたいです。応援、よろしく願います。

愛斗くんは自主練習での「走り」と「ドリブル練習」といった取り組みの成果が成長に表れています。

一成君は、チームに加わったときは積極的に声を出す選手ではありませんでした。ですが、最近では声を出したり、守備的なポジションながら果敢にゴールに向かうなど、自分から積極的に行動しチームを盛り立てる選手の一人となりました。今後も仲間から刺激を受けて活動していきましょう。

卒業生からのアドバイス

● 小室匡平(こむろ きょうへい)くん

アバンで活動する後輩たちに伝えたいのは、時間の使い方や学校での過ごし方、生活部分がプレーにも繋がってきます。自分の行動一つひとつが将来に繋がることを意識して頑張してほしいと思います。「後悔先に立たず」、僕の受験ではこの言葉のように「もっとしっかりやっておけばよかった」という後悔が残りました。みなさんは、今から自分の生活、行動、習慣を大事に活動してください。応援しています。

卒業生の進学先

卒業生たちの進路先は左記のとおりです。

新3年生の皆さんもすでに高校受験に向けて活動をスタートしましょう。

●東北高等学校	1名
●利府高等学校	1名
●仙台第三高等学校	1名
●宮城県工業高等学校	1名
●名取北高等学校	2名
●仙台東高等学校	2名